

令和4年度
「スポーツツーリズムコンテンツ創出事業」
～アーバンスポーツツーリズム～

事業報告書



横須賀市
Yokosuka City



目次

I.事業概要

- 1. 事業の趣旨・目的 …… P 4
- 2. 現状の課題 …… P 4
- 3. 取組の目的・ターゲット・KPI …… P 5
- 4. 実施体制 …… P 6
- 5. 実施スケジュール …… P 7

II.具体的な取組

- 1. JapanCupで利用したセクションを活用した取組 …… P 8
- 2. 市内の小学校へ訪問・講演会・デモンストレーション …… P 1 2
- 3. 市内イベント会場での日帰り体験会の実施 …… P 1 9
- 4. 宿泊付き体験コンテンツ造成及びモニターツアーの実施 …… P 3 2
- 5. 地元企業・商店街・市民向け講演会・交流会の実施 …… P 3 8
- 6. BMXと横須賀のプロモーション動画の制作 …… P 4 1
- 7. AIビーコンの設置・データ分析 …… P 4 4

III.事業の成果と課題 …… P 5 2

IV.次年度以降の取組 …… P 5 7

参考資料（アンケート結果） …… P 6 1

I. 事業概要

1. 事業の趣旨・目的
2. 現状の課題
3. 取組の目的・ターゲット・KPI
4. 実施体制
5. 実施スケジュール

I. 事業概要

1. 事業の趣旨・目的

2022年4月27日に横須賀市と（一社）全日本フリースタイルBMX連盟は「アーバンスポーツを活用した連携協定」を締結し、7月には自治体として初めて『JapanCup Yokosuka』を誘致・開催した。

この大会は、『音楽・スポーツ・エンターテインメント都市』を目指す本市にとって新たな都市活力を創り出し、アーバンスポーツ元年と位置付ける大きな一歩となった。

本市には、誰もがアーバンスポーツを楽しめる「うみかぜ公園」があり、アーバンスポーツの文化は根付いていたが、「ツーリズム」という観点では十分ではなかった。

全国に先駆けアーバンスポーツを活用した地域活性化に取り組む自治体として強く推進するため、今回の事業では、BMXを中心とした**アーバンスポーツを「知る機会」「見る機会」「する機会」が提供できるコンテンツを創出し**、「横須賀に行けばBMXを楽しめる」という**認知度の向上**と、実際に楽しめる環境を整備する。

そして、市民のみならず、市外からの来訪者にもBMX・アーバンスポーツを通じて「横須賀を楽しめる機会」を創出し、**関係人口の増加を目指す**。

さらには、事業のコンテンツを活用し、「横須賀＝アーバンスポーツのまち」の定着およびアーバンスポーツツーリズムによる**地域の活性化や魅力ある街づくりを推進していく**。

2. 現状の課題

- アーバンスポーツ推進の認知度（「知る」・「見る」機会）
- 気軽に始められる環境整備（「する」機会）
- アーバンスポーツと観光を織り交ぜたツーリズム（アーバンスポーツによる地域活性化）

I.事業概要

3. 取組の目的・ターゲット・KPI

取組No	具体的な取組	目的	ターゲット	KPI
1	JapanCupで利用したセクションを活用した取組	・「知る」「見る」「する」機会の創出	・全国のトップレベルの選手 ・BMX中級者以上	・セクションの活用 ・PR
2	市内の小学校へ訪問・講演会・デモンストレーション	・「知る」「見る」機会の創出 ・「横須賀＝BMXの街」の定着 ・小学生のファン作り	・市内の小中学生と保護者	・4回の実施
3	市内イベント会場での日帰り体験会の実施	・「知る」「する」機会の創出 ・「横須賀＝BMXの街」の定着 ・親子でのファン作り	・BMX以外の目的で横須賀を訪れたファミリー層	・5回の実施
4	宿泊付き体験コンテンツ造成及びモニターツアーの実施	・「見る」「する」機会の創出 ・BMXやスポーツツーリズムを通じた観光消費の促進	・BMXを目的に横須賀を訪れた子供連れのファミリー層	・1回の実施
5	地元企業・商店街・市民向け講演会・交流会の実施	・「知る」機会の創出 ・地域全体でBMXを盛り上げる	・市内の企業・商店街・市民	・3回の実施
6	BMXと横須賀のプロモーション動画の制作	・「知る」機会の創出 ・「横須賀＝BMXの街」の認知度の向上	・BMXに興味のある小学生～Z世代を中心とした若者	・2本制作
7	・AIビーコンの設置 ・データ分析	・街の回遊パターンの分析を行い、ツーリズムの造成につなげる ・課題の抽出、次年度以降の指針の決定	—	・AIビーコンの設置 ・データ分析

I.事業概要

4. 実施体制

団体名及び担当者	役割	体制	実績等
横須賀市 文化スポーツ観光部企画課長 北山 剛	<ul style="list-style-type: none"> ・総括 ・各種調整 ・AIビーコンの設置、管理 	5名	<ul style="list-style-type: none"> ・(一社) 全日本フリースタイルBMX連盟と「アーバンスポーツを活用した連携協定」の締結
一般社団法人 全日本フリースタイルBMX連盟 理事長 出口 智嗣	<ul style="list-style-type: none"> ・選手および講師の派遣 ・学校訪問 	6名	<ul style="list-style-type: none"> ・JapanCupの主催 ・全日本選手権の主管 ・横須賀市と「アーバンスポーツを活用した連携協定」の締結 ・学校訪問（2018年度から岡山県にて3回/年実施）
株式会社JTB 横須賀支店 営業課営業担当課長 歳常 拓也	<ul style="list-style-type: none"> ・企画、運営 ・体験会 ・モニターツアー ・動画制作 ・講演会 	3名	観光庁事業 ①「誘客多角化のための魅力的な滞在コンテンツ創出事業」 ②「地域の観光資源の磨き上げを通じた域内連携促進に向けた実証実験」
よこすかseasideパートナーズ (うみかぜ公園指定管理者) 西武造園株式会社 管理運営部部長 松村 邦正	<ul style="list-style-type: none"> ・うみかぜ公園BMXパークの管理、運営、PR 	5名	<ul style="list-style-type: none"> ・UMIKAZE URBAN SPORTS FASTAの開催 ・うみかぜ公園BMXパークの管理・運営

I.事業概要

5. 実施スケジュール

時期	実施事項
7月	【取組6】動画の制作開始 【取組7】AIビーコンの設置
10月	10日（月・祝）【取組3】①「よこすかスポーツフェスタ2022」で実施 23日（日）【取組3】②「ワイ！フェスタおっぱま2022」で実施 29日（土）【取組1】JapanCupで利用したセクションの一般開放スタート（「うみかぜ公園BMXパーク」オープン） 29日（土）【取組3】③コースカ横須賀で実施
11月	18日（金）【取組2】①高坂小学校訪問 19日（土）【取組3】④「MEGURU Project」で実施 19日（土）～20日（日）【取組4】モニターツアーの実施 19日（土）【取組5】①市民交流イベントの実施 21日（月）【取組2】②鶴久保小学校訪問
12月	10日（土）【取組3】⑤「MEGURU Project」で実施 10日（土）【取組5】②市民交流イベントの実施 20日（火）【取組2】③野比東小学校訪問 21日（水）【取組2】④池上小学校訪問
2月	7日（火）【取組5】地元企業・商店街・市民向け講演会の実施 【取組6】動画の展開 【取組7】AIビーコンを活用したデータ分析、アンケート集計

Ⅱ.具体的な取組

【取組 1】

JapanCupで利用したセクションを活用した取組

Ⅱ.具体的な取組 【取組1】 JapanCupで利用したセクションを活用した取組

■ 取組

- ・7月22日～24日 「JapanCup Yokosuka」の開催（来場者数：3日間で延べ9,700人）
- ・7月～10月 セクションの移動、安全性チェック、フェンスの設置
管理事業者への安全講習・利用マニュアル等の準備
パーク利用、ルールの整備
- ・10月29日 「うみかぜ公園BMXパーク」オープン
- ・11月 ホームページの開設（英語版も開設）
- ・1月 フライヤーやポスターの作成（英語版も作成）

■ 利用実績

- ・オープン～1月末まで 合計 451人が利用

■ 成果

- ・パーク利用のルール作り、中・上級者が楽しめる環境が整った。
- ・ホームページの開設、フライヤーやポスターの作成ができた。（外国人対応として、英語版も作成・開設）
- ・パークのオープンにより、「横須賀＝アーバンスポーツのまち」の認知度向上につながった。

■ 反省点

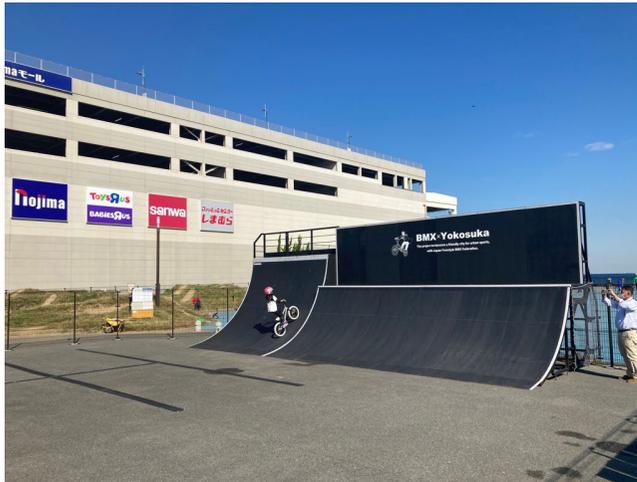
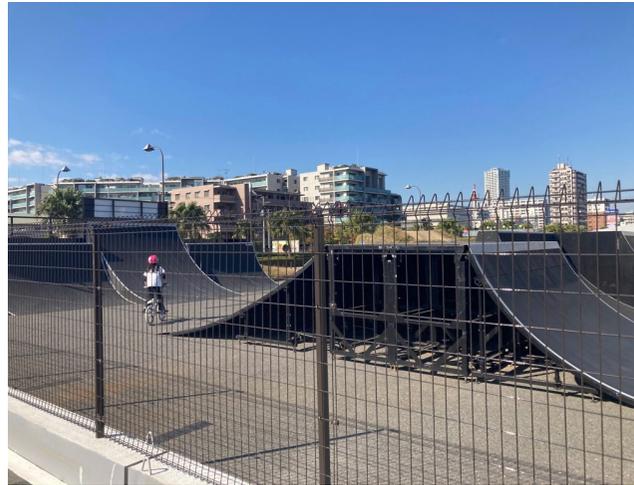
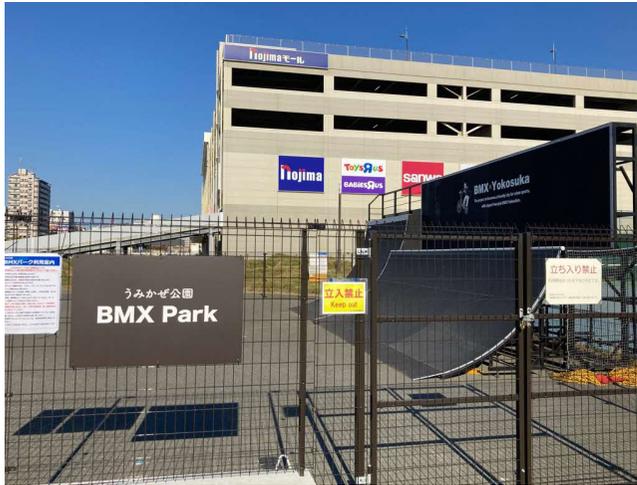
- ・JapanCup終了後、開放に向けた準備・ルール作り・安全対策（フェンス設置）等に時間がかかり、一般開放が予定より遅れた。
- ・横須賀市でアーバンスポーツに力を入れていることを知っている人は25%程度と認知が不足している。
- ・セクションが中・上級者向けであるため、誰でも気軽に利用できる環境を整えることが十分にできていない。

■ 次年度以降の取組

- ・利用者を増やすために、PR等の拡大や工夫をする。
- ・パークを活用した大会やイベント、スクールの開催、BMXのレンタルなどを検討して、多くの人が気軽に利用できる施設へと変えていく。

Ⅱ.具体的な取組 【取組1】 JapanCupで利用したセクションを活用した取組

■ うみかぜ公園BMXパークの様子



Ⅱ.具体的な取組 【取組1】 JapanCupで利用したセクションを活用した取組

■ホームページ

横須賀市 うみかぜ公園

猿島が目前に迫り、浦賀水道を航行する船舶を一望できる眺望が魅力の公園です。海を眺めながら利用できるスポーツ施設やバーベキューが楽しめる広場などがあります。

10月29日(土) 『BMXパーク』 オープン!!

10月29日 BMXパークOPENします!

UMIKAZE BMX PARK English Information

UMIKAZE BMX PARK English info...

新型コロナウイルス感染予防対策のお願い

公園の管理者変更について

安心してご利用いただくため、ご理解とご協力をお願いします。

指定管理者「よこすかseasideパートナーズ」が運営して...

英語版を作成し、外国人利用者増を図る取組

■フライヤーとポスター

うみかぜ公園 BMXパーク オープン!!

2022年7月に開催された第71回JapanCup Yokosukaの施設が、10月29日より正式にBMX専用施設としてオープンしました。うみかぜ公園は、BMXのスタートコースやスタートボックスが、着実にBMXパークがオープンする予定です。

9:00~19:00 (10月~3月は17:00まで)

月曜日、12月29日~1月3日 (10月~3月は17:00まで)

BMXパークの施設

The BMX facilities with multiple jump ramps built for the July 2022 BMX Japan Cup Yokosuka have become a permanent installation through an agreement with the Japan Freestyle BMX Federation. In October 2022, these facilities were opened to the public as Umikaze BMX Park.

Hours: 9:00-19:00 (Oct to March: 9:00-17:00)

Closed: Mondays, New Year's (Dec 31st to Jan 3rd) (If Monday is a holiday, park will close on Tuesday instead)

For more info about BMX Park

Hours	Fee			
	Locals (Over 16 years old, valid ID in Yokosuka)		Non-locals	
	Children	Adults	Children	Adults
Open	300	600	600	1,200

① Weekday: 15:00-18:00 (3-hour set time slot)
② Sat, Sun, Nat'l Holidays: 10:00-18:00 (3-hour set time slot)
③ Children: Junior high school age and younger
④ Adults: Those 19 and older who are not junior high school students
⑤ JCF members get a discount!

Ⅱ.具体的な取組

【取組 2】

市内の小学校へ訪問・講演会・デモンストレーション

Ⅱ.具体的な取組 【取組２】市内の小学校へ訪問・講演会・デモンストレーション

■ 取組

	実施日	実施校	参加児童（講演会）	参加児童（デモンストレーション）
1	11月18日（金）	横須賀市立高坂小学校	105名（5・6年生）	335名（全校生徒）
2	11月21日（月）	横須賀市立鶴久保小学校	200名（5・6年生）	200名（5・6年生）
3	12月20日（火）	横須賀市立野比東小学校	79名（6年生）	198名（2・5・6年生）
4	12月21日（水）	横須賀市立池上小学校	173名（5・6年生）	567名（全校生徒）
		合計	557名	1,300名

■ 内容

- ①「夢」をテーマに、キャリア教育を意識した講演会の実施（約45分）
 - …（一社）全日本フリースタイルBMX連盟 出口理事長および本市出身の強化指定選手などが登壇
- ②仮設セクションを利用したBMXフリースタイル・パークのデモンストレーション（約45分）
 - …強化指定選手による実演

Ⅱ.具体的な取組 【取組2】市内の小学校へ訪問・講演会・デモンストレーション

■ 成果

- ・実施前は**BMXを知っていた児童は64%**であったが、多くの小学生に**BMXを知ってもらい、BMXを好きになってもらうことができた**。BMXを知らず初めて見た児童でも、実際に目の前でデモンストレーションを見ると、ほとんどの児童は興味を持ってくれ、小学校訪問は**BMXを知るきっかけづくりには大変有効**であると言えた。（アンケートで、**BMXが楽しかったと99%の児童が回答**）
- ・選手の体験談を聞いて、実際に夢をかなえていくプロセス（一例）を知ってもらうことができ、講演会の狙いであった「**夢や目標を持つことの大切さ**」を伝えることができた。（アンケートで、**夢や目標を持つことの大切さがわかったと96%の児童が回答**）
- ・学校の広報誌にも取り上げてもらい、PTAや地域住民を含め、多くの人に**BMXの魅力を知ってもらうことができた**。先生・児童からの評判も良く、アンケートで**また学校訪問を実施してほしいと97%の児童が回答**。また、7月に市内で開催された**JapanCupを見たことがある、または見たことが無いが見てみたいと89%の児童が回答**。
- ・生徒から選手へ**手紙やお礼状**が届き、児童に喜ばれるだけでなく、**選手のモチベーションUP**につながった。

■ 反省点

- ・学校の設備（体育館の広さ）や方針（コロナ禍で多くの生徒が一堂に集まることができない）等で、**限られた児童にしか見ることができなかった**。
- ・実施日直前に、デモンストレーションに参加予定だった選手が怪我をしまい、急遽代理の選手のアサインをした。常に怪我と隣り合わせのスポーツであるため、**万が一のことを考え、選手のバックアップなども検討しておく必要があると感じた**。
- ・日本代表選手のW杯遠征などのスケジュールが固まらず、**学校訪問の日程をなかなか決定できなかった**。

Ⅱ.具体的な取組 【取組2】市内の小学校へ訪問・講演会・デモンストレーション

■ 次年度に向けて

- ・デモンストレーションだけでなく、キャリア教育の観点からも学校からの評判は大変良く、次年度以降も**継続して取り組んでいきたい。**
- ・実際にBMXを始めるには保護者の理解も必要なため、**保護者が参加できる学校訪問**を学校と調整して取り組んでみたい。
- ・今後実施してほしいこととして、今回のようなデモンストレーションと回答した児童は34%であったが、それと同じくらいポイントが高かったのがBMX体験会の実施（31%）であった。
学校訪問の中で全児童がBMXに乗ることは時間的に難しいが、別日に実施する**体験会と連動**させて、より多くの児童にBMXが身近となる環境を整備していきたい。
- ・興味のあるアーバンスポーツをアンケートしたところ、BMX（36%）が一番ポイントが高かった、それ以外はパルクール（16%）、スケートボード（15%）、3人制バスケ「3×3」（11%）など満遍なくアーバンスポーツに興味を持っている児童が多いことが分かった。
今回の学校訪問を横展開して、**他のアーバンスポーツでの学校訪問**も実施できるよう検討をしていく。
- ・選手の大会日程、オフ期のスケジュールを早めに共有して、**学校訪問の日程を早く決められる**ようにする。
（学校訪問の日程を早く決めることで、学校行事との調整ができ、**より多くの学校に参加してもらえるため。**）
- ・学校訪問は大会等が無いタイミングでの実施となる為、多くの学校への訪問が難しい場合は、**複数の学校合同での開催やイベント等とコラボレーションするなど柔軟な対応を検討していく。**

Ⅱ.具体的な取組 【取組2】市内の小学校へ訪問・講演会・デモンストレーション

■高坂小学校



■野比東小学校



■池上小学校



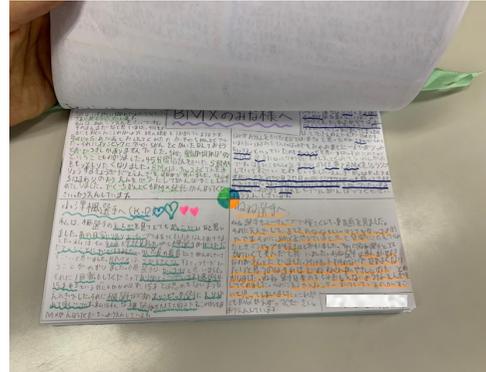
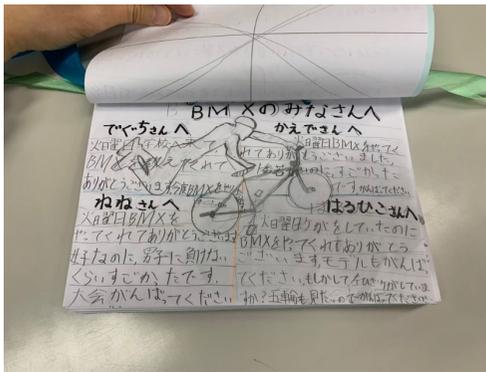
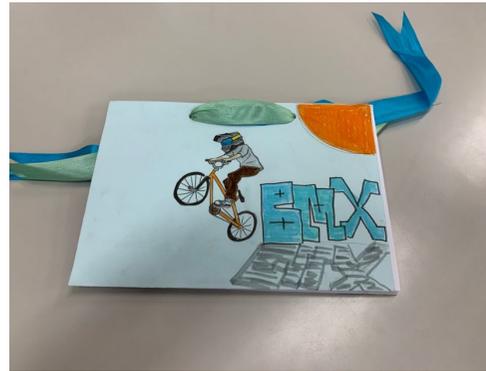
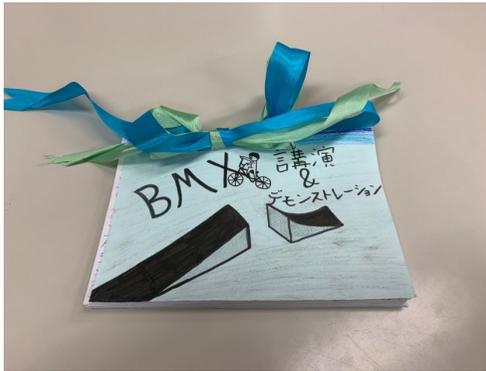
Ⅱ.具体的な取組 【取組2】市内の小学校へ訪問・講演会・デモンストレーション

■ 鶴久保小学校



Ⅱ.具体的な取組 【取組2】市内の小学校へ訪問・講演会・デモンストレーション

■ 児童から感想文集



■ 学校の広報誌

